



小美玉市福祉部署勉強会 生活支援体制整備事業(いい輪ネット)

令和2年7月1日



小美玉市社会福祉協議会
生活支援コーディネーター
大山 明弘

数字で見る小美玉市①

総人口	50,884人	
65歳以上人口	14,608人	28.7%
75歳以上人口	6,491人	12.8%
90歳以上人口	753人	1.5%
内 容	人 数	対人口割合
要介護認定者数	2,109人	4.1%
要支援者	279人	0.5%
要支援者のうち サービス利用者数	181人	1.7%

数字で見る小美玉市②



	市	小 川	美野里	玉 里
人 口	50,884人	17,264人	25,612人	8,008人
世帯数	21,111世帯	7,293世帯	10,457世帯	3,361世帯
面 積	140.21km ²	62.98km ²	61.90km ²	15.33km ²
中学校	4校	2校	1校	1校
小学校	11校	4校	4校	3校
行政区数	120区	51区	50区	19区
ふれあい いきいきサロン	54サロン	17サロン	20サロン	17サロン 3

令和2年3月1日現在

「肩車型」社会へ

1965年
「みこし型」



2025年
「騎馬戦型」



2050年
「肩車型」



65才以上1人を支えるのに、20～64才の割合は…

約9人

約3人

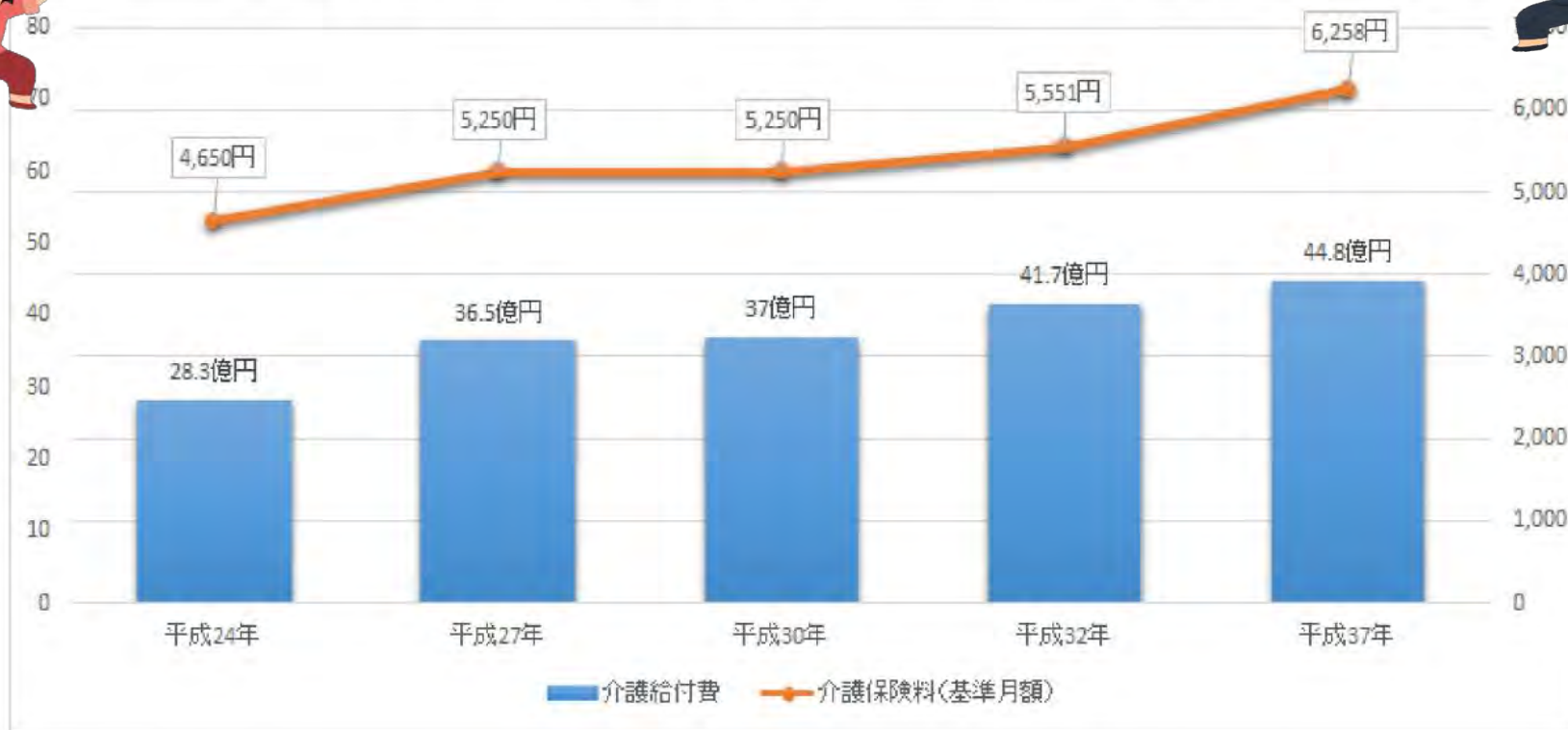
約1人

増税

生活費

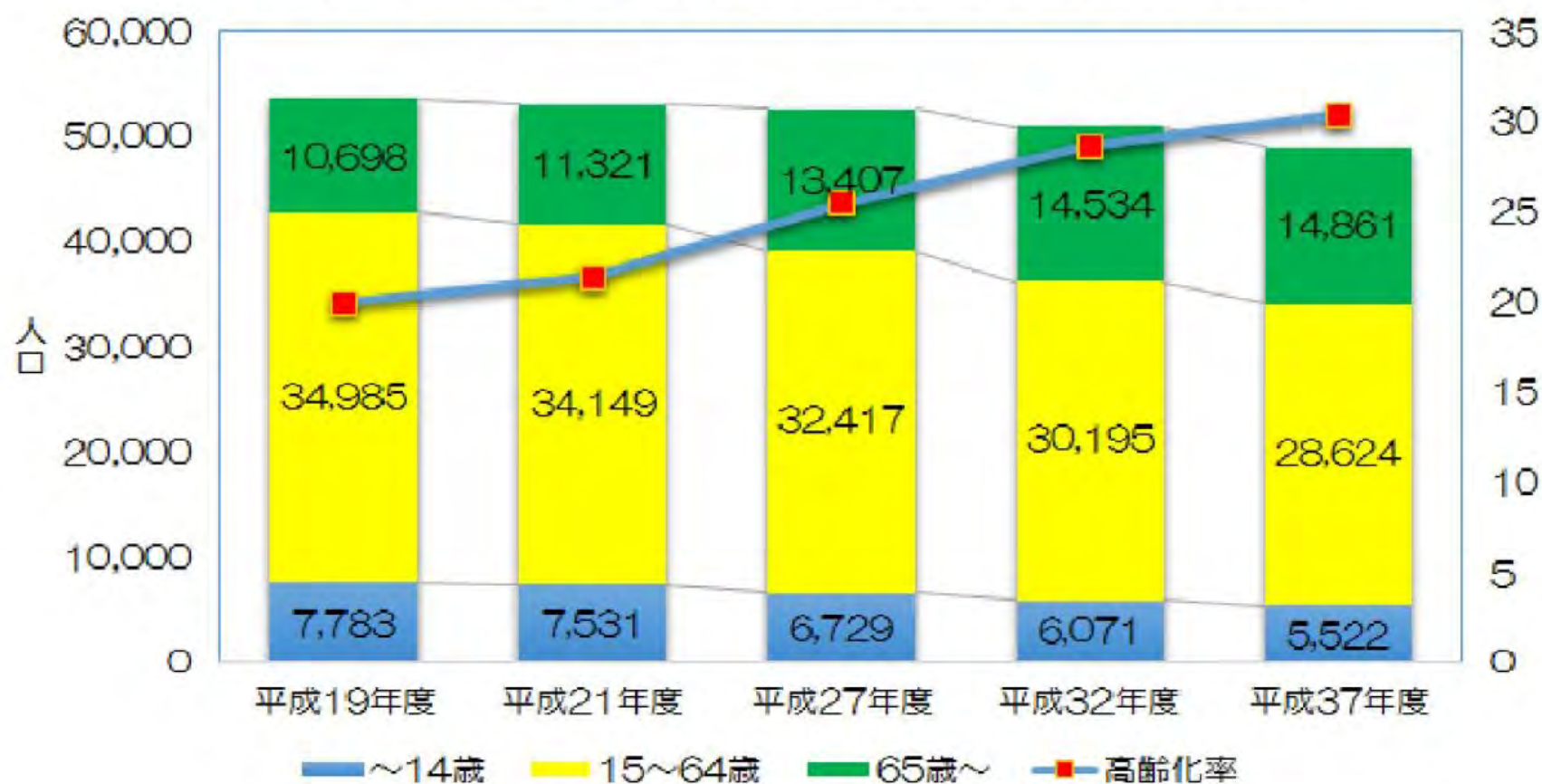
税

小美玉市の介護給付費と介護保険料の推移と将来推定

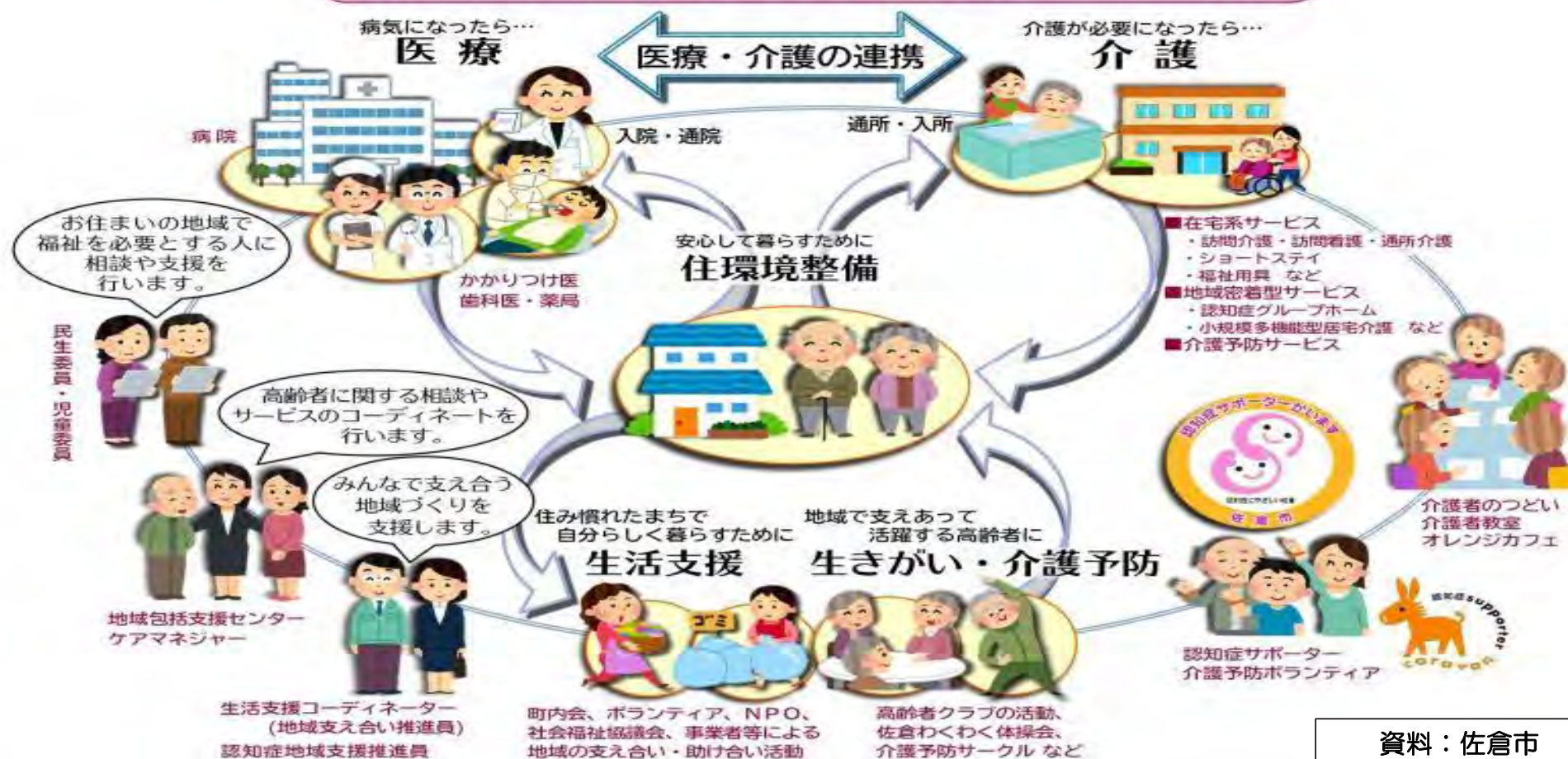


介護職員不足

小美玉市人口と高齢化率の推移と将来推計

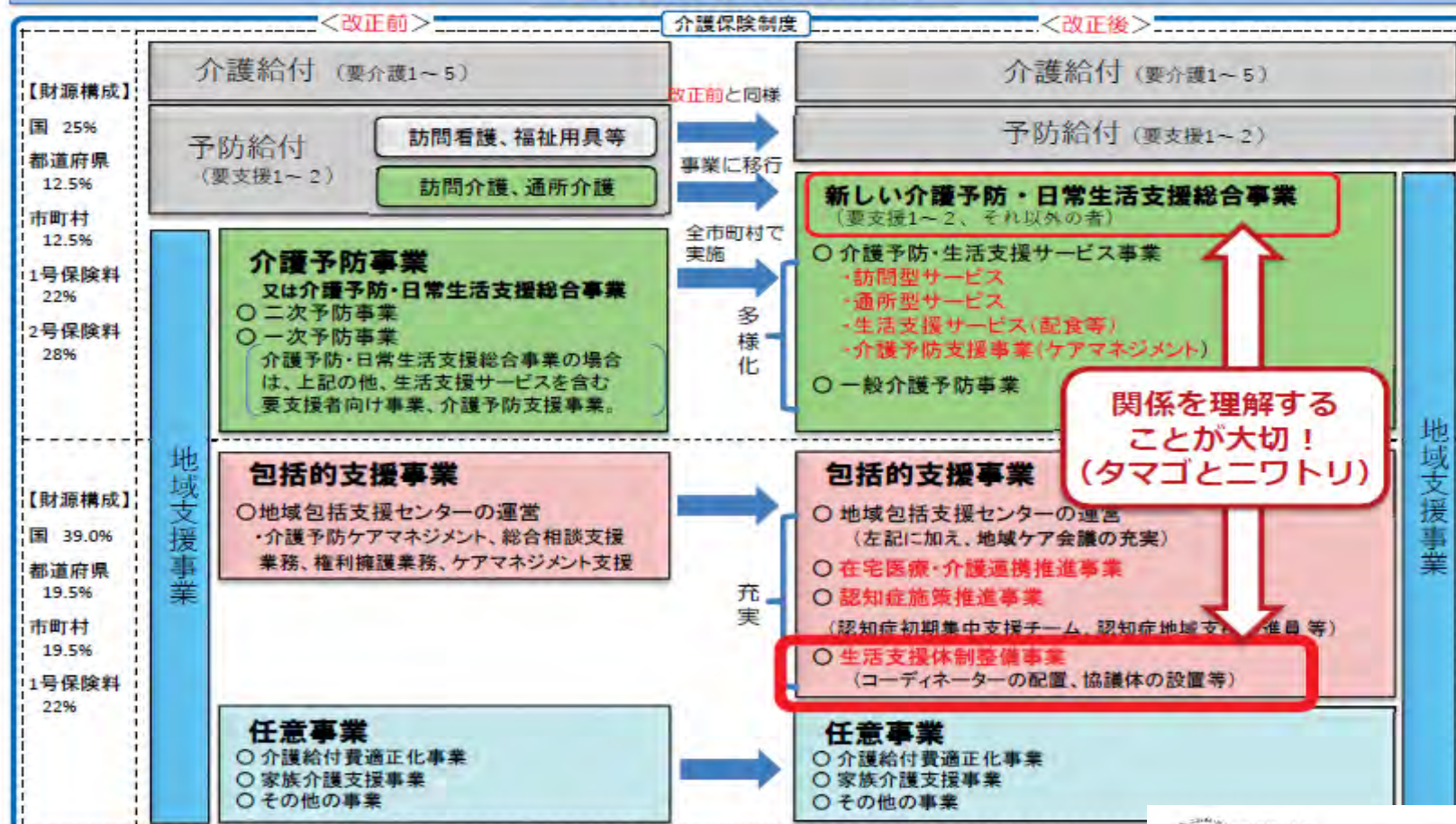


みんなで支え合い、よろこびが生まれる都市・



資料：佐倉市

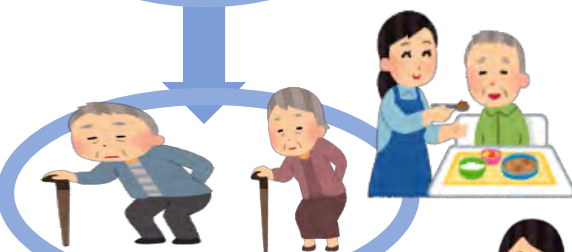
地域支援事業の全体像



助け合い・支え合いの地域イメージ図

今まで

友人・隣人との交流



専門職サービス
はあるけど・・・



これまでの地域との
つながりは疎遠に？

これから

ご近所からボランティア、
専門職までみんなで支える

専門職サービス



一緒に運動・体操



友人・隣人との
“お互いさまの助け合い”

お掃除のお手伝い



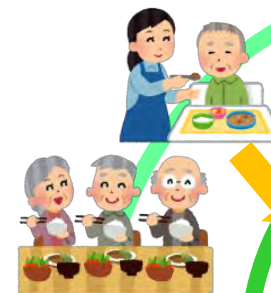
ご近所同士で
茶話会



一緒に外出
(買い物など)



おかずのおすそ分け



【自助・互助・共助・公助の考え方】

従来はサービスを中心とした支援

自助



自分の能力・自分の収入で
生活する

互助



- ・近隣の助け合い
- ・ボランティア
- ・NPO など

共助



- 社会保障制度・サービス
- ・医療保険
 - ・介護保険

公助



- 公的サービス=福祉
- ・高齢者福祉事業
 - ・生活保護

今後は地域主体の活動を中心とした生活支援を積極的に活用

自ら行う健康づくりや、地域の助け合い
の活動（生活支援・介護予防・見守り）
など

今後充実が必要なもの

介護保険料を財源とした介護サービス
の提供に対する給付など

今後不足するもの（課題）

旧来型からの意識改革(行政、住民)

旧来型

行政

行政が中心になり、
「やらなければいけない課題」を調査し
税金や保険料を計画的に活用しながら、
効率よく解決する方法

住民

新地域支援事業

住民が主役となり、多様な人たちが協力しながら
自分たちで解決できる「やりやすい課題」を探し、
できるだけ税金や保険料を使わない工夫をしながら
地域性を活かして解決する方法

住民

この形を実現させるには行政・住民ともに意識改革が必要です！

元気に長生き



通いの場



ふれあい・いきいきサロン

地域での活動





先週こなかったけど
なにかあったの？

風邪をひいて、
買い物にも行けず
大変だったみたい

みんなで買い物を
助け合う活動が
できないか？

助け合いが育まれるプロセス





話し合いの場(いい輪ネット)





地域の困りごと

見守り活動



通いの場づくり



生活支援のしくみ

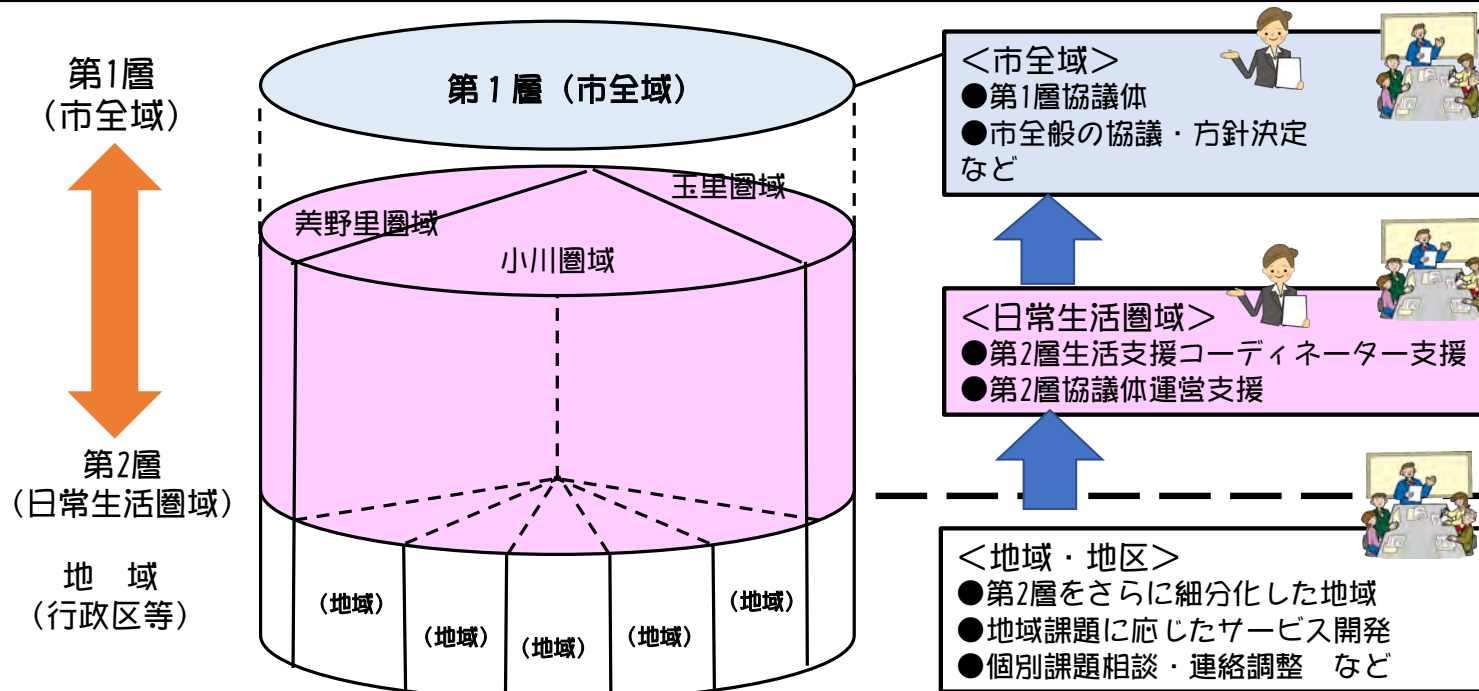


移動支援のしくみ



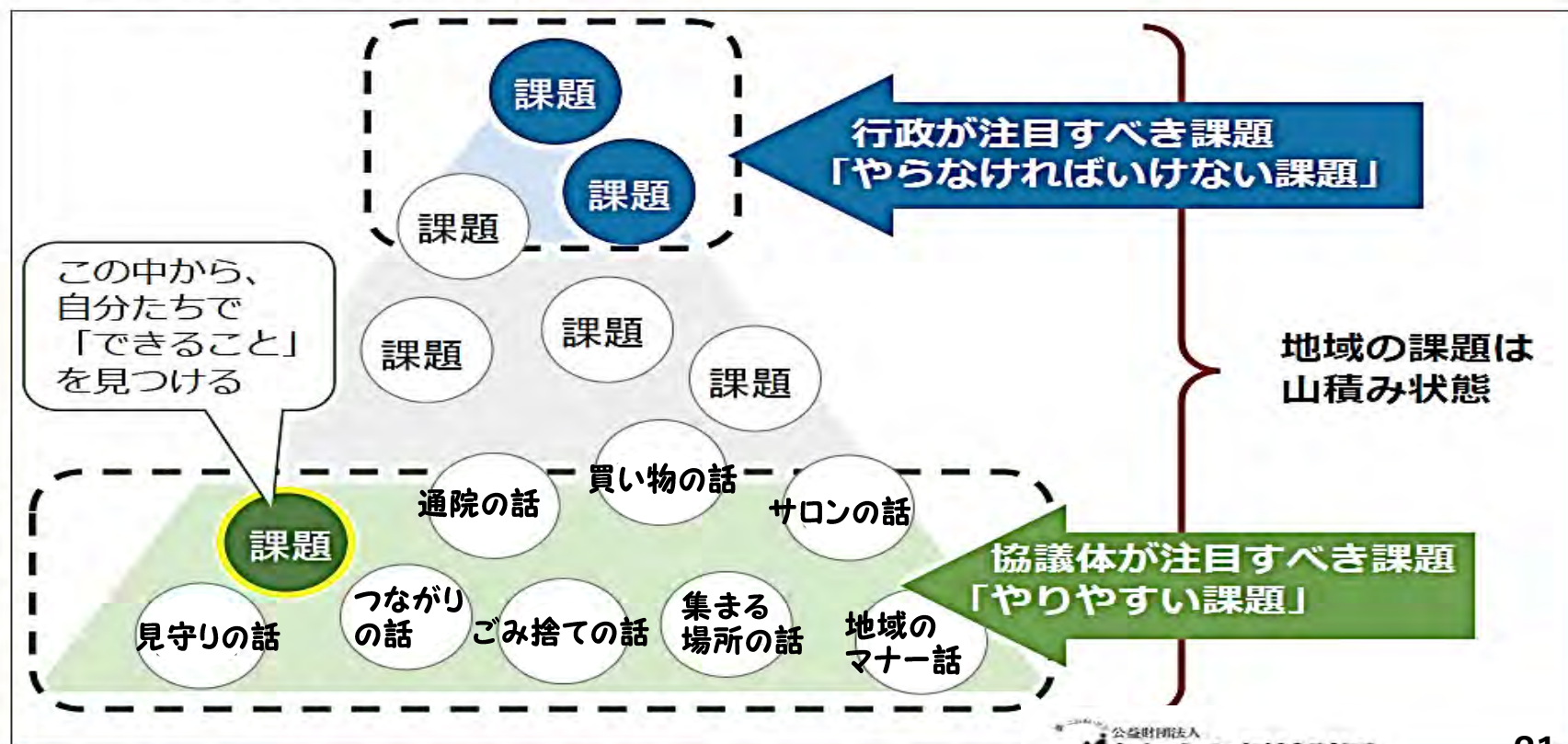
小美玉市全域（第1層）と日常生活圏域（第2層）の関係性について

小美玉市全域を「第1層」、日常生活圏域（各地域包括支援センターの担当区域）を「第2層」とする

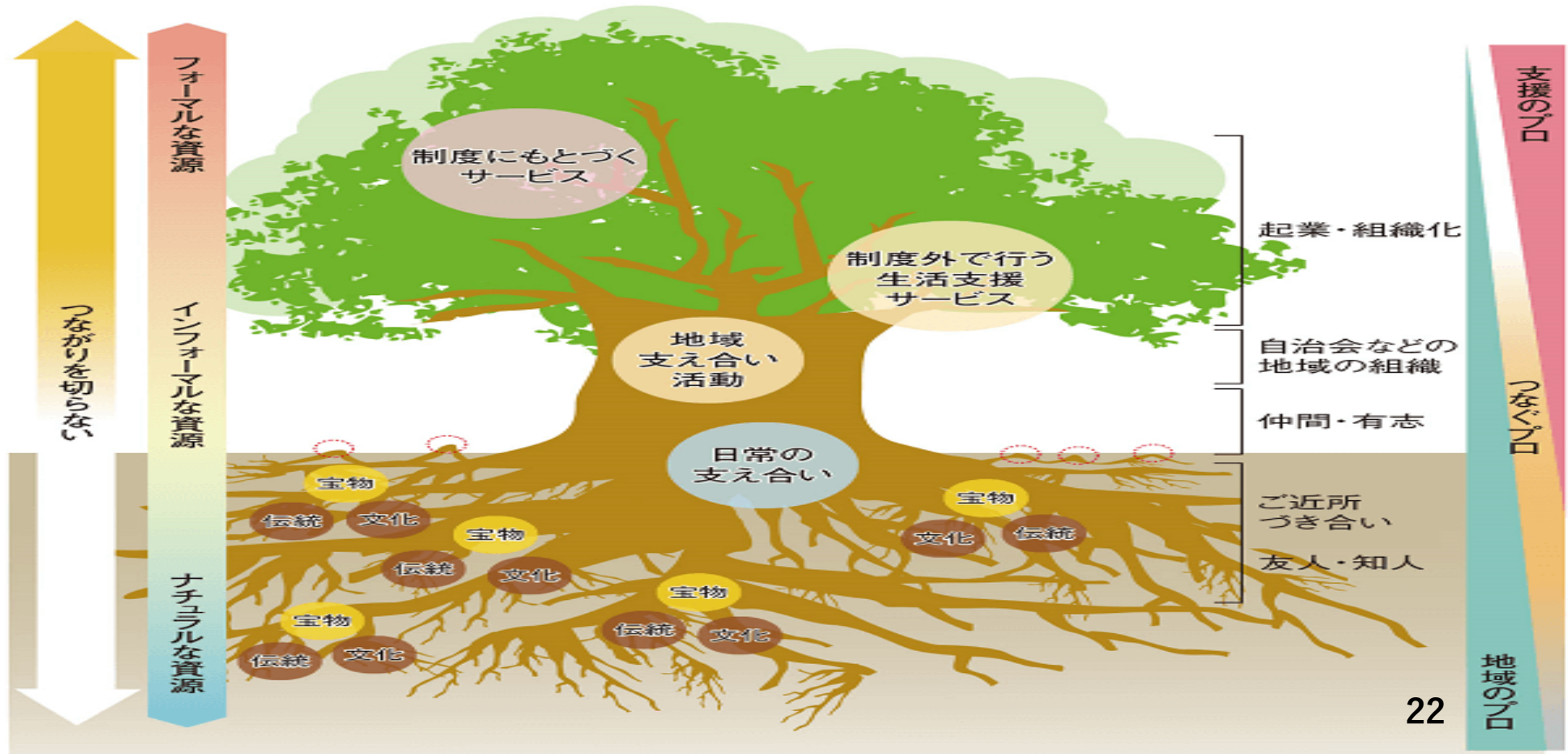


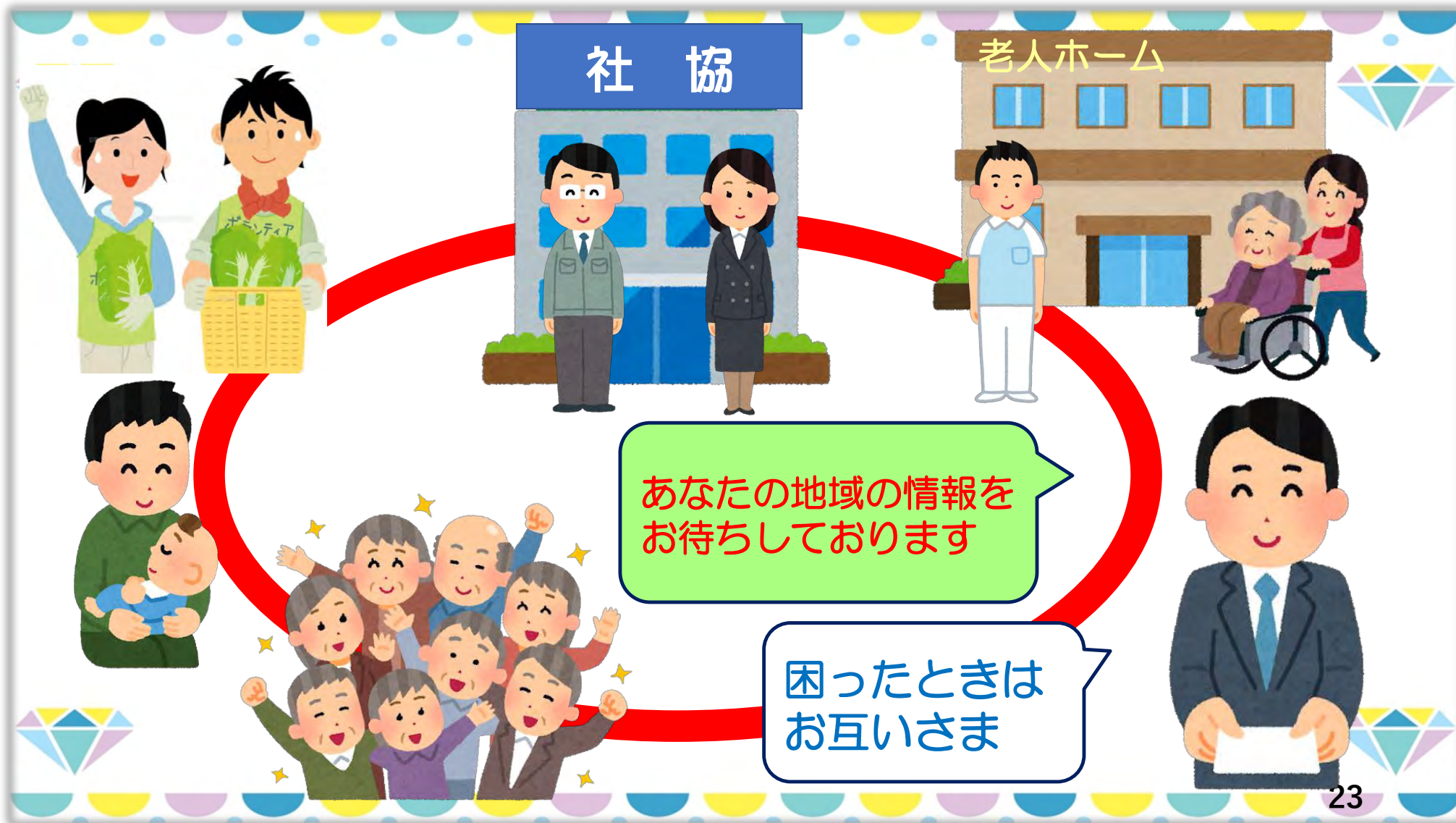
地域に「助け合いの手」を増やすコツ

地域の課題への対応



地域づくりの木





協議体を体験してみよう

こんな活動があります

- ・子ども達との交流
- ・地区のお祭り
- ・近所でのお茶飲み会
- ・見守り活動
- ・買い物支援
- ・お助け隊

今はないがあつたらいいな

- ・助け合い活動
- ・声掛け運動
- ・近所でのお茶飲み会
- ・縁 側
- ・井戸端会議
- ・歩いて行けるお店

ささえあいの地域づくり



生活支援
コーディネーター



ちよ子
78才



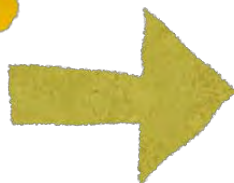
とし男
76才

いい輪ネットおみたま

30年前



現在







安心!
安心!



ちょっと待っ
てください!



2025年問題
を知っていますか?

「肩車型」社会へ

1965年
「みこし型」



2025年
「騎馬戦型」



2050年
「肩車型」



65才以上1人を支えるのに、20～64才の割合は...

約9人

約3人

約1人

生活費



増税

税

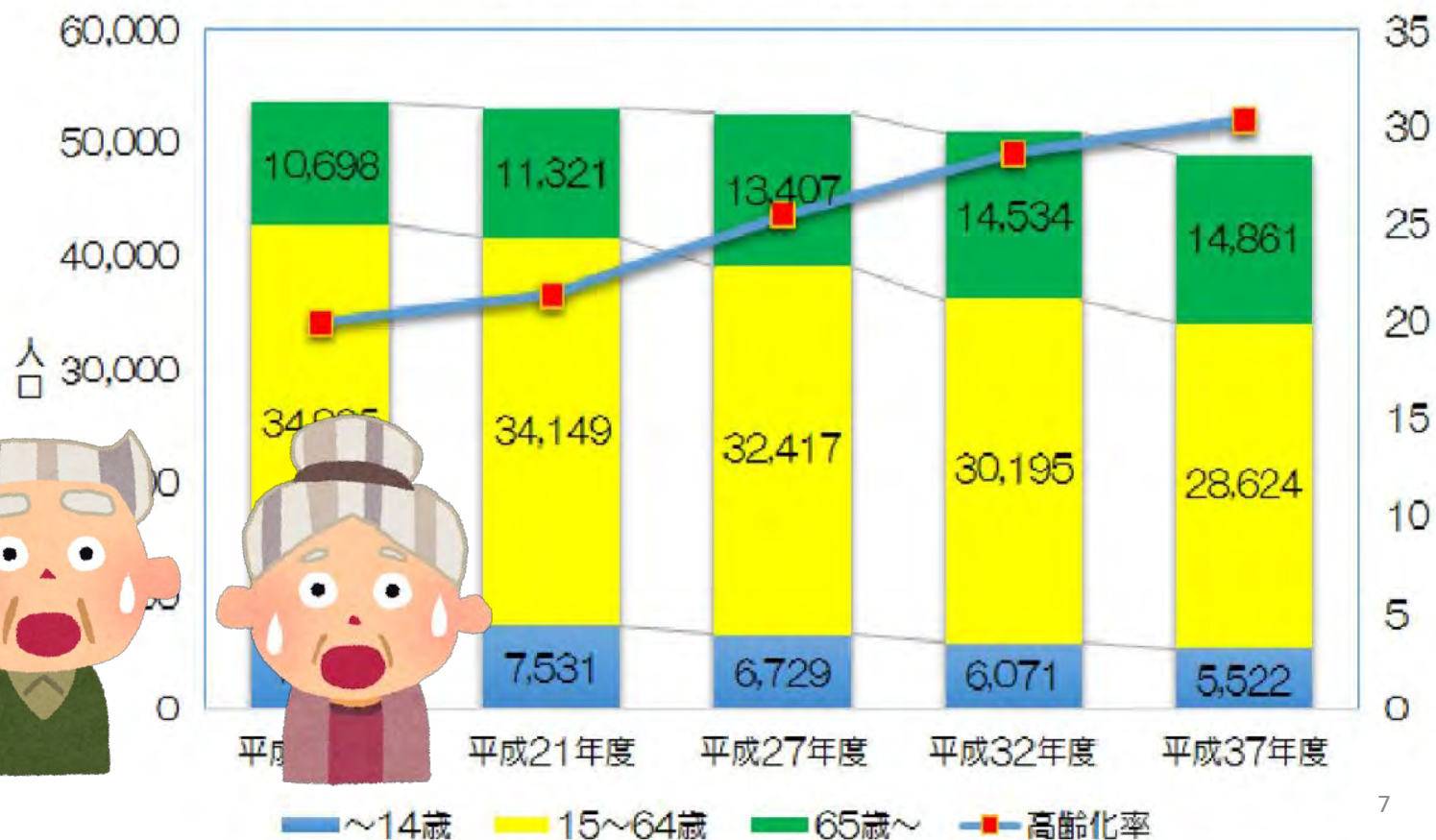


小美玉市の介護給付費と介護保険料の推移と将来推計



介護職員不足

小美玉市人口と高齢化率の推移と将来推計



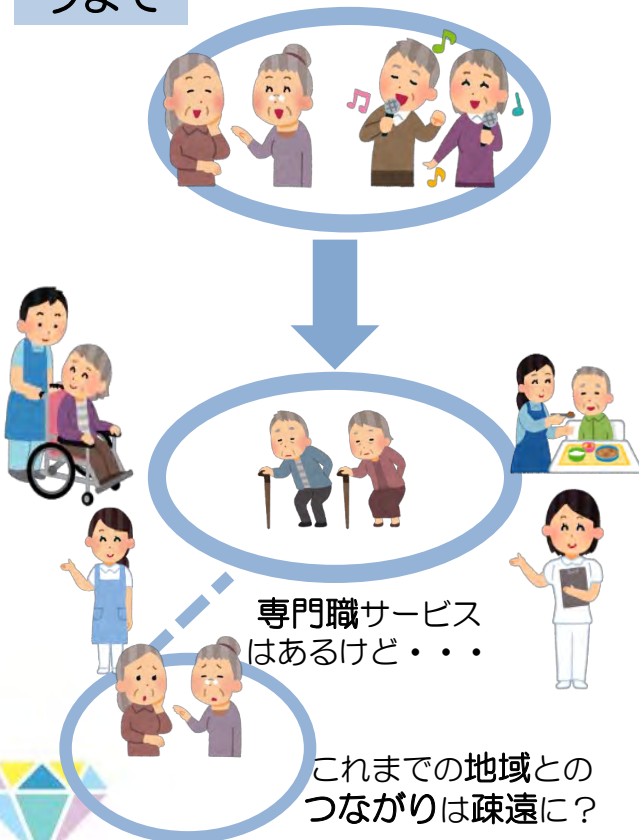
地域包括ケアシステムのイメージ



助け合い・支え合いの地域イメージ図

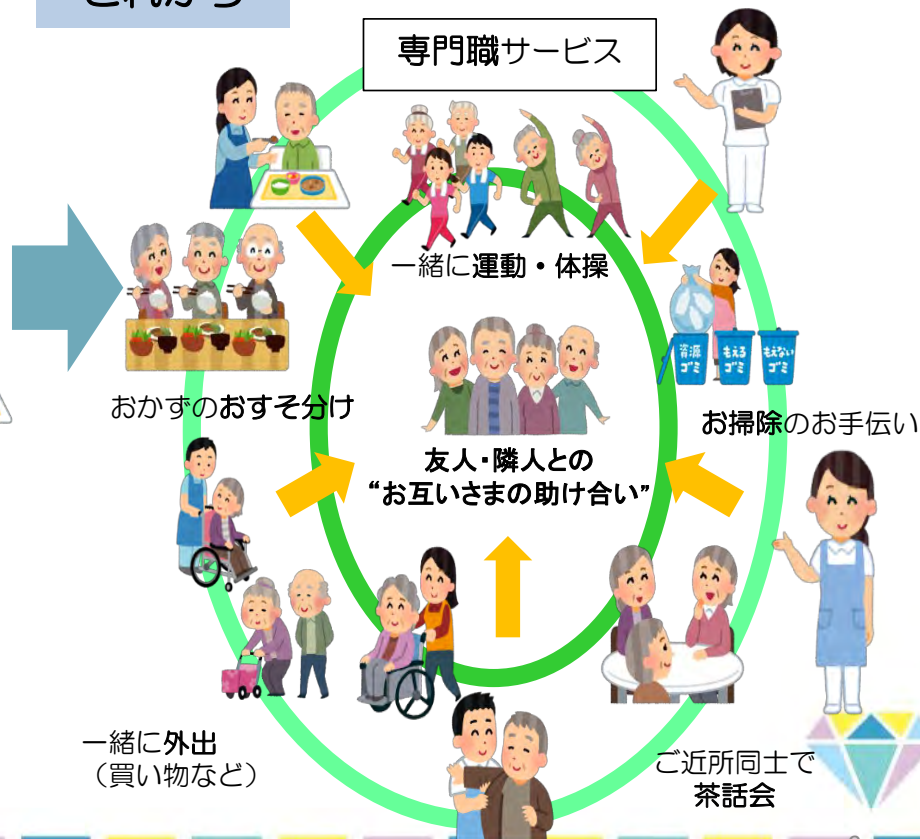
今まで

友人・隣人との交流



これから

ご近所からボランティア、
専門職までみんなで支える





私たちにできること



ひとつ目は
「健康寿命を
延ばす」こと

ふたつ目は
「よい人間関係
にある」こと

社会性を持つ

運動不足



どよ〜ん



おっくう



よい人間関係にある



家族・友人・地域とよくつながっている人ほど幸せで、身体的にも健康かつ長生きする

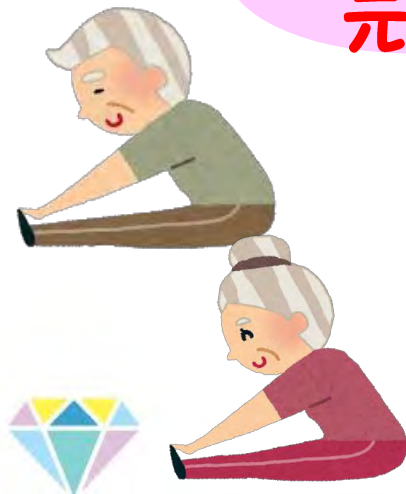
50歳で幸せな人間関係にいた人が、80歳になっても健康だった

何かあったとき、本当に頼れる人がいると感じている人の記憶ははっきりしている



健康で
元気

みんなで
楽しく



通いの場づくり



ふれあい・いきいきサロン



支えあいの地域づくり



ゴミ出し、電球
交換しますよ！

お隣さん元気かな～

ゴミ



話し合いの場(いい輪ネット)





地域の困りごと



生活支援のしくみ



見守り活動



移動支援のしくみ



通いの場づくり





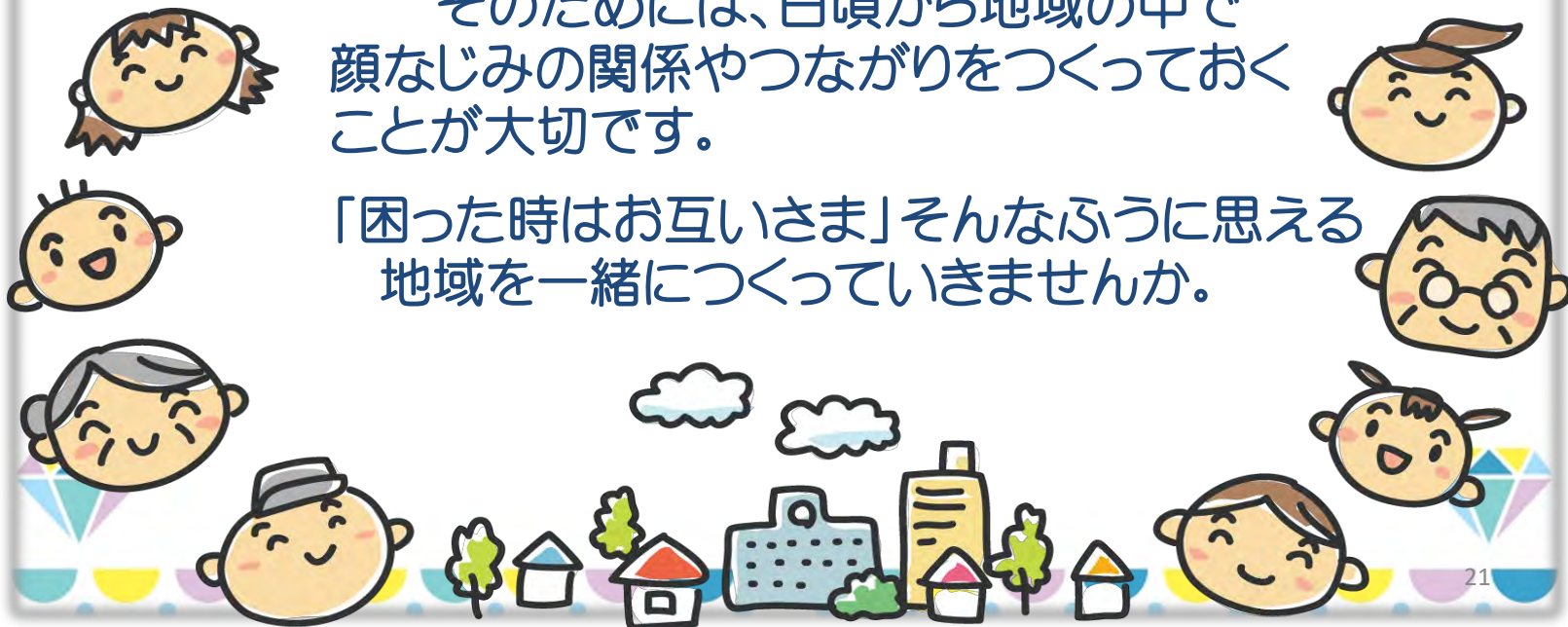


今の時代、地震や台風、大雨などの自然災害、
病気、事故、家族の介護など、自分の身が
いつどうなるかわかりません。

そんな時、みなさんが暮らす地域でささえあい、
助け合いができる社会は、自分のため
でもあるのではないのでしょうか。

そのためには、日頃から地域の中で
顔なじみの関係やつながりをつくっておく
ことが大切です。

「困った時はお互いさま」そんなふうに思える
地域を一緒につくっていきませんか。



地域のささえあい活動



小美玉市社会福祉協議会